



さくらんぼだよ

12月号

平成29年12月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

発表会においでください

園庭の木々も葉っぱを落として、いよいよ冬支度に入ったようで、少し寒そうに見えます。

でも、畑の冬野菜たちは子どもたちに元気を与えようとしっかり畑の土から養分をとり、青々と育っています。栄養価の高い旬の冬野菜を食べることで、体が温まり、粘膜も強くなり、ウイルスに対する抵抗力が高まり、風邪の予防につながります。今年はや々とインフルエンザに罹ってしまった子どももいましたが、インフルエンザや、嘔吐下痢症などの感染症が流行するのはこれからの時期。冬野菜を取り入れたバランスの良い食事、そして十分な睡眠を心がけ寒い冬を乗り越えられるようにしていきましょう。

先日は、園の畑でサツマイモ掘りをした子ども達、形から大きさまで、様々なサツマイモを引っっこ抜いて大喜びでした。スイミー組の子ども達が教えてくれましたが、なんとその数は大きいだけで157本！ちっちゃなお芋は、その日のうちに蒸しておやつで頂きました！その後、数日おいて、大きな焚き火を囲んで焼き芋会を楽しみ、みんなで頂きました。焚き火は煙がモクモク出るという事で、焼き芋会をやりたくても、中々難しさがあるため、実施できない園もあると聞きます。そうした風潮の中で、開園当時から続けている焼き芋会ですが、地域の皆様方のご理解とご協力がある賜物と思います。

12月13日(土)は発表会です。

おはなしの広場まつりの後だけに、普段読んでもらっている絵本のお話を今まで以上に楽しんでいる子どもたちです。そして、発表会に向けて楽しいお話を劇ごっこにしたり、歌を歌ったり、楽器を手にして合奏もどきを楽しんだりしています。発表会では、このように子ども達が楽しんでいる姿、そして自分達で役割を決めて頑張っている姿など、歌や合奏、劇などを通して保護者の方々にも見て頂ければと思います。子ども達の普段からの頑張りに皆様の温かな拍手をお願いします。保護者の皆様のおいでを心よりお待ちしております。

2017・12・1 園長 中館 和子

お知らせ



<発表会について>

12月13日(水) 発表会総練習(祖父母招待) 9:00~12:00
12月16日(土) 発表会 (園児保護者) 9:00~12:00

<発表会後のミニパーティについて>

子ども達の発表が終わりましたら、各クラスごとミニ・パーティをします。終了時間は、予定より多少長引くことがあるかもしれませんが、その際は、ご了承下さい。

<もちつき会について>

12月21日(木)、もちつき会をします。
もちつき会では、おじいちゃん、おばあちゃん達をご招待し、交流したいと思っています。詳細は、後日、お知らせ致します。

<30年度保育所入所継続手続きについて>

入所継続の手続きの期間は12月14日(木)までとなっています。
記入漏れなどがないか確認し期日まで提出してください。

<おはなしの広場まつり&バザー、ご協力ありがとうございました>

おはなしの広場まつりでは、実行委員長さんをはじめ、たくさんの方々のご協力の下、無事、終える事ができました。絵本購入、環境整備基金のため、家庭用品、手作り品など提供して下さい下さった方、野菜などたくさんのお物を購入して下さい下さった方等、皆様のお心遣い、感謝致します。本当にありがとうございました。

行事予定

12月		
日	曜日	行事
5	火	発育測定
6	水	避難訓練
13	水	発表会総練習
16	土	発表会
19	金	誕生会
21	木	もちつき会
28	木	御用納め

1月		
日	曜日	行事
5	金	発育測定
10	水	避難訓練
11	木	5歳児懇談会
16	火	4歳児懇談会
23	火	誕生会
26	金	3歳児懇談会

* 12/29(金)~1/3(水)まで休園です。



先日、ある研修会で講師の先生が最近の若者世代の特長についてお話しされていました。その一つとして、自分の好きなことにだけは取り組むが、周りに関心を持つことがなく、コミュニケーションが難しくなっていること、自分だけが良ければいい、というような風潮になっているということでした。すべての若者たちがこのようになっているとは思わないのですが、講師の先生によると、やはり乳幼児期からの育ちが関係しているのでは、とも話されました。チェリー保育園では人との触れ合いをととても大事にしています。人と関わることで、自分の気持ちを相手に伝えることや、相手の気持ちに気づき、思いやりたりすることもできてきています。でも、これは、おとうさん、おかあさん、そして職員にありのままの自分を受け入れてもらい、認めてもらっているからこそできるのだと思います。子どもにとっては、自分を受け入れてくれる、おとうさん、おかあさんがいてこそ意欲もわきます。ただ、時には、親から見たときどうしても子どもの不足なところしか目に入らず、中々いいところが見えなくて、つい、要求ばかりしてしまう、ということもあると思います。でも、どんな子どもでも、感心してしまうところやいいところは必ずあります。子ども一人一人もって生まれた個性や能力は皆違います。周りと比較することなく、ありのままの姿をおとうさん、おかあさんに受容され、認められた時、そして、子ども自身が好きなことを楽しんでやっていることをおとうさん、おかあさんも一緒に喜んであげることで、共感してもらったことの喜びにつながり、安心感や自信が生まれ、心の中に元気や意欲がわいてくるのではないかと思います。いつか社会へと巣立っていく子どもたち。意欲をもって色んなことに挑戦できるよう、これからも子どもたちの心を育てていきたいと思っています。



母と子の
絵本 棚



「だっこし〜てだっこし〜て」 出版社 福音館

ぶん きざかりょう え ながの ひでこ

おかあさんが赤ちゃんをだっこ。自然と節をつけて読んでしまいうような心地よい言葉にのせて色んな抱っこが描かれています。大好きなおかあさんに抱っこされて満面の笑顔の赤ちゃん。きっと、思わず抱っこしたくなるかも…。読んでみてください。

「おやすみなさいフランチス」出版社 福音館

ぶん ラッセル・ホーバン え ガースー・ウィリアムス

やく まつおか きょうこ

夜、もう寝る時間…。でも、なかなか眠れない…。そんなときの子どもの心情がうま〜く描かれています。私たち大人も、こんな時あったな〜と、子どもの頃をふっと思い出されるかもしれせんよ。親子で楽しんでください。



“喜びを分かち合う幸せ”

先日、あるキッズルームで心がほっこり和むような親子に出会いました。二人のお子さんを連れただおかあさん、ちょっとご機嫌ななめの4〜5ヶ月の赤ちゃんは抱っこされていたのですが、そのすぐそばで遊んでいた2歳くらいのおねえちゃん。歌を口ずさんだり、いないいないばあ〜！と色んな顔の表情を作ってはグズグズする赤ちゃんに話しかけていました。赤ちゃんもおねえちゃんの表情に、あ〜あ〜、と声を出し時にはきゃっきゃと声高に笑ってすっかりご機嫌！おかあさんもお姉ちゃんに「ありがとう」と言って、優しいまなざしで見守っていました。赤ちゃんの反応におねえちゃんもとても嬉しくなっていたようでしたが、周りで見ている人たちもいつの間にか笑顔になっていました。おかあさんに優しく見守られている安心感が、喜びを感じ合える心をしっかり育てているのを感じながら、幸せな気持ちになりました。

わらべうたであそぼう

♪おてらのつねこさん♪

おてらの

(人差し指と中指で足のように相手の手の甲の上を歩く)

つーねこさんが

(相手の手の甲を右手で軽くつねる)

かいだんのぼって

(相手の手首から肩まで2本の指で歩く)

おりてきて

(手首まで下りてくる)

うらからのぼって

(うでの内側の下から脇の下まで2本の指で歩く)

こーちょこちょー

(脇の下をくすぐる)